

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立梨の実寮	所管課	障害福祉課
所在地	南アルプス市有野4370	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年8月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	施設内容:管理・居住棟(1163.98㎡ 4人部屋×10、5人部屋×2、2人部屋×1、1人部屋×4)、作業棟(252㎡)、授産施設棟(1,321.92㎡)、短期入所事業用居室(81.9㎡) 定員:生活介護(50人)・就労移行支援(10人)・就労継続B型(10人)・施設入所支援(50人)・短期入所(6人)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務 利用者に対するサービス業務(生活介護、就労移行支援、就労継続支援B型、施設入所支援、短期入所) その他知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	近隣施設 ・山梨県立あけぼの医療福祉センター:医療型障害児入所(療養介護)(80人)、児童発達支援(15人)、生活介護(15人)、短期入所(15人) ・山梨県立育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、施設入所支援(90人)、短期入所(9人)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	生活介護	48	50	49	
	就労移行支援	4	3	5	
	就労継続支援B型	9	10	10	
	施設入所支援	42	45	44	
	短期入所	5	8	10	
	利用者数合計	108	116	118	
	目標値	126	126	126	126
	目標値設定の考え方	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。	施設の性格上、利用者数に目標値を設定することは馴染まないことから定員を目標値とする。
	対23年度比	100.0%	107.4%	109.3%	116.7%
	稼働率	85.7%	92.1%	93.7%	

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	177,642,224	168,870,000	176,933,387	167,270,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	70,242,653	4,400,000	87,384,286	4,724,000
	収入合計(A)	247,884,877	173,270,000	264,317,673	171,994,000
支出	人件費	137,136,367	128,280,000	120,587,545	123,700,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	101,645,496	44,990,000	132,217,225	48,294,000
	(うち外部委託費)(B)	47,250	200,000	0	200,000
	支出合計(C)	238,781,863	173,270,000	252,804,770	171,994,000
収支差額(A - C)		9,103,014	0	11,512,903	0
外部委託比率(B ÷ C)		0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
利用者一人当りの経費		0	0	0	0

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年10月、平成26年3月(2回実施) 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:第1回65人、第2回62人(施設入所支援サービス利用者)
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用者のケア	85.8%	0.0%	3.1%	11.0%
秘密保持について	78.7%	0.0%	3.1%	18.1%
食事面	92.9%	0.0%	0.0%	7.0%
入浴支援	85.8%	0.0%	1.6%	12.6%
健康管理面	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%
買い物、外出、外泊について	72.4%	0.0%	15.7%	11.8%
設備・管理面	73.2%	0.0%	14.2%	12.6%
各項目の平均	83.1%	0.0%	5.4%	11.5%

利用者の意見	・買い物、外出、外泊について:もう少し出かけたたい。一人で散歩に行きたい。 ・施設・管理面:2~3人部屋がいい。
利用者の意見への対応	・利用者の安全に配慮しながらも、外出等の機会を増やすなど、利用者が満足して生活できるよう考えていく。 ・施設の構造的な問題のために改善は難しいので、利用者に説明して納得してもらっている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設は老朽化しているが、法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書どおり適正に実施されている。施設・設備の老朽化が目立つことから、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業計画書に基づき適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	日中一時支援事業、指定相談支援、居宅介護、重度訪問介護、移動外出支援、共同生活介護、共同生活援助について適正に業務を遂行した。	自主事業申請(業務計画書)どおり適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、就労移行支援以外のサービスは、概ね計画どおり執行が出来た。	就労移行支援サービスについては、支援学校へのPRを積極的に行う等関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のためのPRに努力されたい。
収支状況	収入増額となったが、引き続き経費削減を実行し、効率的な運営を心掛けた。	収入増を達成するなど安定経営を維持しているが、施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増加することが予想されるため、計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
利用者満足度	「満足している」との回答が多く出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	概ね満足を得られているので、今後においても利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運營業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行されている。</p> <p>経費削減に努めている。</p> <p>利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。</p> <p>就労支援B型の目標工賃が達成できなかったことから、受注先の開拓など利用者の工賃向上に努めること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>指導事項の就労継続支援B型の目標工賃が達成できなかった原因は、年度途中施設外就労の仕事が中断したことで工賃に多大な影響があった。平成26年度に入ってから順調に委託業務が増えていることから、今年度の目標工賃の達成は可能と思われるが、引き続き受注先の開拓に注力し工賃向上に努める。</p>	

7 管理体制(組織図)

